

平成30年3月9日

1年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただき、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 1年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）質問紙調査

- ・学校生活に順応し、指示通りには動くことができている。
- ・自己肯定感や愛されているという感覚について、標準スコアを上回っている項目が多い。上回っていない項目も、標準スコアに近い。

#### （2）これからの取り組み

- ・指示が出るまで動けないところがあるので、自分で考えて行動できるような力を育む。
- ・普段の宿題以外に、家庭で進んで自主学習に取り組めるように促す。

平成30年3月9日

2年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただき、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 2年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）学習到達度調査

- 国語…物語文や説明文の内容を正確に読み取ることに課題が見られる。  
自分の考えを明確にし、具体的に文章を書くことに課題が見られる。
- 算数…時間の単位（時・分）の変換に少し課題がみられる。  
言葉と式に表して説明するなど、記述式解答は、他の問題に比べて誤答・無回答が多く課題が見られた。

#### （2）質問紙調査

- ・自己肯定感は全国平均値に近い状態であった。
- ・全国平均と比較すると、朝自分で起きている児童が著しく少ない。

- ・学習習慣について、「テストで間違えた問題の見直しをする」と肯定的に答えた児童は少ない。
- ・学習環境にストレスを抱えている児童が多くみられる。

(3) これからの取り組み

- ・授業の中で書く活動を入れるように引き続き取り組んでいく。
- ・テストを返却してから、繰り返し同じテストに挑戦させ、力の定着を図っていく。
- ・基礎が定着しつつあるので、発展的な課題に取り組んでいく。

平成30年3月9日

3年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただき、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 3年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）学習到達度調査

- 国語…ローマ字の定着に課題があり、解答を書いても誤答が多くみられた。  
書くことについて、記述式解答の制限がある問題（複数の条件付）の誤答・無回答率が、他の問題に比べて課題がみられる。また、文章の内容を的確に読み取ることにも課題が見られる。
- 算数…式と言葉で説明する問題では、他の問題に比べ、誤答・無回答が多く課題が見られる。  
図形の領域では、コンパスを使って長さの見当をつけるなど、空間認識が弱いことが分かった。

(2) 質問紙調査

- ・「学校の授業以外にどれくらい勉強しますか」の項目では、「まったくしない」と答えた児童が多い。
- ・平日の寝る時間は、10時ごろが一番多く、全国平均より遅い結果になっている。
- ・生活習慣については、「朝ごはんを食べている」、「学校の前日に準備をする」、などの項目は全国平均を上回っている。
- ・自己肯定感については、全体的に全国を上回っている結果になった。

(3) これからの取り組み

- ・複数の条件に応じた文章が書けるように考えを書く時間を授業の中で取り組む。
- ・問題の解き方の定着を図り、繰り返し基礎基本の問題に取り組む。

平成30年3月9日

4年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただき、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしく願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 4年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）学習到達度調査

- 国語…書くことについては全体的に目標値と離れており課題が見られる。特に、2段落構成で文章を書くこと（条件指定付）については、誤答・無回答が多く苦手なことが分かる。物語文の内容を読み取ることも課題が見られる。また、言葉の学習について、漢字辞典の使い方や文の構成について理解している児童が少ないこともわかる。
- 算数…全体的に、目標値に届いていない。わり算の筆算の意味を理解していないことも課題である。量と測定の領域、面積を求める問題では題意を理解して比較し、わけを説明する問題について、誤答・無回答が多く課題となっている。数量関係の領域「計算のきまり」では、他の領域に比べ、誤答率が高い。

(2) 質問紙調査

- 学習習慣について、全体的に全国の平均まで届いていない。特に、「家で復習や予習をする」ことや、「休みの日に勉強をしているか」などの項目において差が大きいことが分かる。
- 生活習慣においては、「朝自分で起きている」という項目や、「1日にどれくらいテレビを見たりゲームをしたりするか」という項目において、平均よりも下回っている。
- 自己肯定感は、全体的に平均より下回っており、認めてもらっている感覚や自尊感情が低いことが分かった。

(3) これからの取り組み

- 書く活動を増やし、条件付き作文などを書く機会をたくさん与え、経験を積ませる。
- 基礎的な学習内容を忘れないように、繰り返し基礎基本の問題に取り組む。
- 学校でも家庭でも、子どもたちにできる課題を出して、褒める。

平成30年3月9日

5年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただけ、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしく願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 5年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）学習到達度調査

- 国語…前年度(4年時)に学習した漢字について、定着率が低いものもある。  
言葉の学習について、連体修飾語、連用修飾語の問題で、無回答はなかったが、誤答率が高かった。  
文章の内容や、物語文の場面の描写を読み取る中で、想像力に課題が見られる。抽象的なものは特に苦手なことが分かる。  
記述式の問題では、他の問題と比較すると無回答率が高い傾向がある。

- 算数…全体的に、目標値に届いていない。特に、わけを説明したり、問題の場面を理解し求めたり、自分で考えて言葉に表す答えの時に、誤答・無回答が増えている。  
量と測定の領域については、体積を求めたり、単位量当たりを求めたりすることが苦手である。見えない空間をイメージすることが苦手のように感じる。

(2) 質問紙調査

- ・周りの人から愛されていると感じている児童の割合が高く、自己肯定感については、全ての項目で上回っている。
- ・ソーシャルスキルでもほぼ全ての項目で上回っているが、公共の場での行動の在り方について、平均より少し低いことが分かった。
- ・生活習慣について、平日、テレビやゲームをする時間に関する質問では、平均より2時間も多いことが分かる。

(3) これからの取り組み

- ・学習の中で結果を求めるだけでなく、その道筋（説明できるように）を大切にしていけるよう取り組む。
- ・基礎・基本の内容は定着しつつあるが、それらを活用して解く問題(応用)に課題がある。基本的な学習習慣は身につけてきたので、家庭学習で定着を図り、それらを使って自分の考えを説明したり、書いたりできる力を養う授業を展開していく。
- ・自己肯定感やソーシャルスキルについて上回った結果が出たことは、授業内で一人ひとりの意見や考えを大切にすることや、行事や各活動において、成功体験を積み重ねた成果であると考えられるので、今後も続けていく。

平成30年3月9日

6年生 保護者の皆様

摂津市立鳥飼北小学校  
校長 荒木 智雄

## 平成29年度 摂津市学力定着度調査の結果について（お知らせ）

梅花の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました摂津市学力定着度調査の結果がでましたのでお知らせいたします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様には、結果を踏まえてお子様と話し合っただき、お子様の学習環境の改善について今後ともご理解・ご協力の程よろしく願い申し上げます。

### 1. 調査目的

- 児童一人ひとりの取り組むべき課題を明確にし、主体的に学ぶ意欲を向上させるとともに、個々の児童の指導に活かすこと。
- これまでの学力調査等により、義務教育の初期段階からの学力の積み上げの重要性が明らかになったことから、各学校が小学校1年生時の「基礎・基本の定着」状況を把握し、指導体制及び指導計画の改善を図るとともに、教員一人ひとりの指導の改善に活かすことで学習指導を充実させること。
- 本市教育委員会として、義務教育のスタート時に必要な「確かな学力」を定着させるため、調査の結果をもとに就学前教育と義務教育の円滑な接続を図るための施策の充実を図ること。

### 2. 実施概要

- 対象 小学校第1～6学年全児童（第1学年は質問紙調査のみ）
- 実施日 平成29年12月13日（水）
- 学習到達度調査 第2～6学年 国語・算数（11月までの学習内容）
- 質問紙調査 第1～6学年 生活・学習状況に関する調査

### 3. 本校における結果の概要

#### （1）学習到達度調査

- 国語・・・どの学年においても目標値を下回っているが、観点別にみたときに目標値を超えている項目が増えている。
- 算数・・・どの学年においても目標値を下回っているが、昨年度より目標値に近づいた。

#### （2）質問紙調査

- 自己肯定感において、標準スコアに近い値の学年が多く、学年によっては超えている。
- どの学年においても、進んで学ぶ意欲、家庭での自主学習についての意識が低い。
- 決まりやマナーを重んじる意識が低く、表面上見えづらい人間関係のストレスが高い。

### 4. 6年生における結果の概要及びこれからの取り組み

#### （1）学習到達度調査

- 国語…書くことの領域において、記述式の解答では誤答・無解答が多く見られる。  
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、前年度（5年次）に学習した漢字の定着率が目標値と比較すると下回っていることが分かる。また、敬語（特に謙譲語）の使い方も理解不十分であることが分かる。  
漢字を読む、物語文・説明文を読み取ることに關しては、目標値より上回っている結果になっている。
- 算数…記述式解答になると、誤答・無解答率が他の問題に比べ増えていることがわかる。  
量と測定の領域では、単位換算が苦手であり、目標値よりも下回っている。

## (2) 質問紙調査

- ・「愛されている」という項目においては、ほぼ全国平均を上回る結果が見られた。
- ・生活習慣において、「メールや SNS のやりとりをするか」という項目では、全国に比べ毎日頻繁にする児童が圧倒的に多いことが分かる。また、「平日のテレビやゲームをするか」という項目においても、平均に比べ時間は多くなっている。
- ・学習習慣について、家で全くしない児童が多い結果となっている。
- ・分からない言葉が出てきたときには、調べない児童が多いことがわかり、学習の仕方が身につけていないことが課題である。

## (3) これからの取り組み

- ・意見文・随筆につながる書く指導を行う。
- ・答えを出すだけでなく、答えにたどり着くまでの道筋を立てる（説明する力をつける）取り組みを行う。
- ・自分のことを客観視できていないことがあるので、できているところ・できていないところをはっきりと示す。